

※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。

大隅地区中学新人野球大会を開催



優勝した吾平中学校



8月8日・9日の2日間、輝北運動場と百引中第二グラウンドで「第53回大隅地区中学新人野球大会」が開催されました。

この大会は、青少年の健全育成と技術向上を図ることを目的に昭和32年から開催されている伝統ある大会で、今年は市内外から16チームが参加。強い日差しと猛暑の中、選手たちはチームの勝利のために一生懸命プレーし、熱戦を繰り広げました。結果は次のとおり。

- 優 勝=吾平中学校
- 準優勝=鹿屋中学校
- 3 位=第一鹿屋中学校・百引中学校

安全パトロール隊へ 装備品を贈呈



8月12日、吾平振興会館で、「吾平地域安全パトロール隊装備品贈呈式」が行われました。

これは、同隊の活動が評価され、警察庁が実施する「地域安全安心ステーション推進事業」の指定を受けたことに伴い、防犯パトロール用品が贈られたもの。隊員たちは「今後も市民が安心して暮らせるようにパトロール活動に尽力します」と誓っていました。

交通事故撲滅 を目指して



8月20日、交通安全啓発全国キャラバン隊が鹿屋市を訪れ、メッセージ伝達式が行われました。

同隊は、「みんなですすめよう交通安全」をスローガンに、交通安全の啓発を行いながら全国各地を巡回します。当日は、市役所前駐車場で内閣府特命担当大臣からのメッセージを鹿屋市長へ伝達。市長の激励を受けた同隊は、次の目的地へ向けて出発しました。

「安全・安心パトロール隊」が発足 ～犯罪防止のため求職者雇用、県内初～



8月5日、市役所前駐車場で、「安全・安心パトロール隊」の発足式と出発式が行われました。

同パトロール隊は、市防犯協会が県の「ふるさと雇用再生特別基金事業補助金」を活用し、隊員7人を雇用して発足したもので、県内では初めての試み。

出発式では、パトロール隊の鈴木信二隊長が「市民から信頼されるパトロール隊として地域の安全を守るために努力します」と誓いの言葉を述べたあと、青パト3台に乗り込み、白バイの先導で市内を巡回しました。

パトロール隊の主な活動は、金融機関等のATM設置箇所での振り込み詐欺防止や大型店舗等での自転車盗難防止、通学路での児童生徒へ声かけ事案の防止のためのチラシ配布等を行い、市民の安全を守ります。

輝北地区で子ども会 インリーダー研修が開催



8月11日、輝北コミュニティセンターで「子ども会インリーダー研修」が開催されました。これは、輝北地区の小学校6年生を対象に、子ども会のリーダーとして活躍してもらうことを目的に行ったもので、12人が参加。子どもたちは、3班に分かれてKYT研修（危険予知トレーニング）やグループ討議を行うなど、真剣な眼差しで研修に取り組んでいました。

焼酎麹用米で 水田の有効活用を推進



7月下旬から8月上旬にかけて、吾平町の4.1haの水田で、初めて焼酎麹用米の収穫が行われました。

吾平地域では、地産地消の推進と水田の有効活用を目的に、集落営農組織内の4戸の農家の協力を得て、加工用米の作付に取り組んでいます。収穫された米は、地元の焼酎製造会社に18.7tが納入され、この米を使った焼酎が来年1月ごろ販売される予定です。

子どもたちが 大豆の植え付け作業



8月1日、南町の水田約15アールで、大豆の植え付け作業が行われました。これは、遊休農地の解消（水土里サークル事業）や子どもたちへの食育等を目的に行われたもので、南小学校の児童や地域住民など約50人が参加。植え付け作業のあとは、大豆の基礎知識などについての話もあり、参加者は「11月の収穫が待ち遠しい」と楽しそうに話していました。

串良川源流を探検



8月6日・7日の2日間、垂水市大野地区で、串良地域子ども会の小学校2年生から中学校1年生までの子どもたち25人が「串良川源流探検」を行いました。これは、地域を流れる串良川の源流を確かめることで水の大切さを再認識するとともに、子どもたちの交流を図ろうと行われたもの。

一日目はキャンプを行い、二日目に探検を開始。足場の悪い沢を助け合いながら手を取り合って登りきり、ようやく源流まで辿り着きました。

参加した子どもたちは「川の始まりが見られて良かった」と楽しそうに話していました。

小学生が農業を体験



8月17日、市内各地をめぐる「夏休み農業体験ツアー」が開催されました。

これは、海外での農業研修の参加者で組織する雄飛会と市が、子どもたちに、より農業への関心を持ってもらおうと、夏休みを利用して開催したものの。当日は、市内の小学生28人が参加して、子牛のセリ市や牛乳の製造過程の見学、笠野原台地の農業の歴史や畑かん農業について学んだほか、イモ掘り体験も行いました。参加した小学生は、農業を肌で感じるとともに、農業の大変さや楽しさを知り、一日となりました。